

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107-171	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		

1. 編修の基本方針

本書は、英語学習の特質を踏まえて、特に「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」の3領域を中心とした知識・技能の習得とともに、聞いたり、読んだりして得た情報や考えなどを、論理的に発信できるような思考力・判断力・表現力を身につけられることを目標に編修した。そして、次の3点を教育理念として掲げる。

1. 「ことばの教育」に資する

コミュニケーションのためのことばの知識・技能の習得に加えて、ことばを通して思考力・判断力・表現力を高め、豊かな言語観を育成する。

2. 「国際理解教育」に資する

ますます複雑化する国際社会の中で、比較文化の視点に立ち、世界のさまざまな言語や民族に対して目を向けさせ、人類としての共通性だけではなく地域や民族の個性も同時に尊重し合う、豊かな文化観と真の国際理解のための資質・能力を養う。

3. 「人間教育」に資する

今日のグローバル社会に生きる子どもたちに、特に話したり書いたりすることを通して、人間としての生き方やものの見方、考え方、ならびに世界観に目を向けさせ、多様化する社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力を培う。

英語教育は、学校教育の一環としての人間形成の教育であり、ことばの教育を教科独自の課題とし、国際理解教育に対してはとりわけ大きな役割を担っている。この認識に基づき、上記3点の教育理念を具現化するため、特に次の5点を編集の基本方針とする。

1. 特に「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」の活動を通して、ことばと人間との関係やことばと社会との関係など広くことばへの関心を高め、豊かな言語観を育てる。

2. ことば、文化、民族の多様性とその共存を国際理解の基本理念とし、国際感覚と国際協調の精神の育成を図る。

3. 特に「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」の活動の上で必要な、言語能力の本質としての思考力・判断力・表現力の養成を土台として、「論理・表現Ⅰ」における学習で習得した能力を更に伸長させながら、英語の知識や技能の習得、コミュニケーション能力の養成を図る。

4. 実際のコミュニケーションにおけるメッセージの役割を重視し、生徒の興味・関心を喚起する話題やテーマを提示すると共に、対話的な学びや深い学びを引き出す統合的かつ創造的な言語活動を目指す。

5. 生徒の学習段階に応じて自律的な学習のための支援を提供し、主体的な学びを促進するとともに、自ら学びに向かう力を養成する。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
題材（テーマ）	①各課でとりあげた題材については、幅広く高校生の知的興味・関心を高めるものを選択し、「生きる力」を育成するに資するテーマを配置した。（第1号）	各Lesson 各Project
	②各題材においては、高校生の感性に訴えるテーマを扱った。（第1号）	各Lesson 各Project
	③個人の能力や創造性を伸ばし、個性を発揮する中で、それらを将来の生活や職業に結びつけることができるような題材の課を設けた。（第2号）	Lesson 1、4、8、10
	④正義および自他の敬愛と協力など、社会への主体的な参画を扱った課を設けた。（第3号）	Lesson 1、4、7、9
	⑤生命の尊重を扱った課を設けた。（第4号）	Lesson 1、4、7、9
	⑥自然科学、環境を扱った課を設けた。（第4号）	Lesson 4、6、9
	⑦日本の伝統文化および他国の文化を扱った課を設けた。（第5号）	Lesson 2、3、5、7、 Project 3
言語活動	①本課の言語活動は、取り組む生徒の個性、創造性が発揮されるようにした。（第2号）	各Lesson のExpressing Yourself、 Writing、Language in Action 各Project のYour Turn
	②本課の言語活動は、将来の職業の選択、環境問題、社会貢献、伝統と文化の尊重、平和の問題など、自分の考えをまとめて発信できるような題材を扱った。（第1号、第2号、第3号、第4号、第5号）	Lesson 1、3、4、5、6、7、9 Project 3
	③ペアやグループなどの形態を重視し、生徒同士が協力して活動に取り組めるように配慮した。（第3号）	各Lesson のREADY、Expressing Yourself、Writingの+α Project 3、4
付録	生徒の自律的な学習を支えるコーナーや付録などを配置した。（第2号）	目次／本書の効果的な使い方／各LessonのFocus on Function／各Project／二次元コード（音声など）／付録
登場人物	主な登場人物の配置及び活動においては、男女・出身地域の偏りがないように配慮した。（第3号、第5号）	各Lesson 各Project
構成	教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイント、などが生徒たちにわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮した。（第2号）	目次／本書の効果的な使い方／各Lesson／各Project／付録

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1. 国際理解教育の観点から、特に日本の文化については、理解するとともに発信していく態度を養えるように、話題やテーマ、活動の面で配慮した。
2. 自分の意見や考え、主張などを論理的に発信することができ、また国際理解の観点からも、他の国の人と積極的にコミュニケーションを交わすことができる態度が養えるように、話題やテーマ、活動の面で配慮した。
3. ことばへの関心などについても、多面的に考えることができるように扱った。
4. 人間としての豊かな心や人間のもっている微細な感情を意識し、そしてまた、幅広い観点からものごとを考えることができるような習慣形成に資する話題やテーマを配置した。
5. カラーユニバーサルデザインの見地から、識別しにくい配色を避け、形や記号・番号、説明文などの補助を設けた。
6. 環境にやさしい教科書づくりを心がけた。用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用した。インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用した。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107-171	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則に示された教育の方針や高等学校外国語科の教科目標および本書の教育理念に基づき、教科書の構成・配列や各領域などの系統・内容に関して、特に以下のことに意を用いた。

(1)基本方針

- ①多様化している生徒の実態を考慮し、質量ともに充実を図る。
- ②3つの領域別の言語活動および複数の領域を結びつけた統合的な言語活動を通して、「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」を中心とした発信能力の育成を強化し、特に論理的に表現する能力が育成できるように、構成・内容を工夫する。
- ③教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが、生徒たちに分かりやすく提示され、主体的・協働的な学びを促進するとともに、自ら学びに向かう力が育成されるように配慮する。
- ④知識や技能を確実に習得し、それらの知識や技能を目的や場面、状況に応じて活用できる力を、繰り返し段階的に育成できるような教科書構成にする。
- ⑤英語を「聞くこと」や「読むこと」を通じて得た情報などを基にして、様々な場面に応じて適切に「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」ができるようにし、合わせて論理的思考力や批判的思考力が養えるような配慮をする。また、そうしたコミュニケーション活動や体験を通して、他を受け入れ、個人の価値を尊重することのできる豊かな心を育成し、自分の考えや自分たちの文化を外に発信していける力を培える内容にする。
- ⑥学んだ内容の深化・発展に弾力的に取り組めるように、設問や活動などを工夫、充実させる。

(2)本書の特色と編集上の留意点

A. カリキュラムと分量

教材の精選をはかり、カリキュラムにゆとりを持たせた。

B. 題材内容

- 1) 「話す[やり取り]」「話す[発表]」「書く」ためのテーマとして、ことばの教育、国際理解教育（異文化理解教育）、人間教育の観点の基本とし、これらの領域で生徒の知性や感性を考慮して、興味を喚起する内容にした。
- 2) テーマは、人間としての生き方、芸術、日本文化、人物、科学、食文化、都市問題、環境問題、スポーツ、教育など多様な内容にした。なお、「話す[やり取り]」「話す[発表]」「書く」ための形式は、会話、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、また発表のための原稿作成などを基本とした。
- 3) テーマの設定や登場人物は、英語が広く使われている現状と国際理解との関係から日本を中心に、主に英米を中心とした英語圏諸国の英語話者にし、特に高校生が実際に「話す[やり取り]」「話す[発表]」「書く」という状況を重視して、より現実と遊離しない状況を設定した。

C. 言語材料の扱い

- 1) 言語材料は、活発で多様な言語活動を展開することができるように配慮した。
- 2) 「文構造」は表現活動に活用することを基本として精選し、「話す[やり取り]」「話す[発表]」「書く」上で必要と思われる基本的な事項であるとともに、より運用度が高いものを扱った。
- 3) 「語」は、英語コミュニケーションⅡ 程度の範囲で、表現活動に必要と思われる語彙・連語を精選して取り上げた。
- 4) 「音声」については、標準的な米音を基本とした。

D. 言語活動

言語活動は、「話す[やり取り]」「話す[発表]」「書く」必然性を重視し、「言語の使用場面」を具体的に提示すると共に、この3つの領域の言語活動及び複数の領域を結びつけた統合的な関連が図れるように、各Lesson の GET、USE の英文や各Project のスピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート、ライティングなど、形式を工夫した。また、「言語の働き」にも留意し、「話す」「書く」上で多用される表現についても、基本的なものを精選し、系統的に扱った。

E. 本書の構成と内容

1. 構成

- 1) 全体構成は、Lesson 1～10、Project 1～5 を中心とした。「話す[やり取り]」「話す[発表]」「書く」技能を中心として、その習得を目指す教材としつつ、複数の領域を結びつけた統合的な言語活動が図れるように配慮した。
- 2) 各Lesson では、人物、漫画、日本文化、食文化、環境問題、社会問題、スポーツ、教育など、生徒にとって関心のある日常的な話題や社会的な話題の中で自分のことに置き換えて、やり取りや発表をしたり、簡潔な文章を書いたりする練習ができるように工夫した。
- 3) 各Project では、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート、ライティングの活動において、それぞれの活動の特徴を理解すると同時に、実際の場面を想定し、「Useful Expressions」などの表現を使って活動ができるように構成を工夫した。

2. 各Lesson の構成と内容

- 1) READY: やり取りと聞き取りの活動で、課の題材への導入を図る。
- 2) Understanding the Issue の文章: 「話す」「書く」活動の元となる文。
- 3) Q & A: Understanding the Issue の文章の要点を読み取る。
- 4) Thinking with Data: この課の題材に関わる表やグラフから情報を読み取る。
- 5) Expressing Yourself: この課の題材に関する自分の意見を1、2文で表現する。
- 6) Model Paragraph: この課で書くべきパラグラフの見本。
- 7) Getting Ideas: 英文の整序問題を通して、書くべきパラグラフの構造を学ぶ。
- 8) Writing: Step 1、2 の指示に基づいて、自分自身の意見をまとめる。
- 9) Focus on Function: Understanding the IssueやModel Paragraph の文章中に出てくる基本表現を例文と練習問題を通して確認する。
- 10) Language in Action: 見本となる英文を参考に、自分自身の考えをパラグラフにまとめる。

3. 各Project の構成と内容

- 1) 英文: スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート、ライティングのためのトピック文。
- 2) Your Turn: 自分自身の意見や考えを書いたり、話したりして発表する。
- 3) Useful Expressions: スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートで使われる基本表現。
- 4) 実践ガイド: スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート、ライティングの概要。

4. 巻末に、「音声スクリプト・日本語訳・対話例」「語彙・表現リスト (Vocabulary)」「基本表現集」を設け、学習上の配慮とした。

2. 対照表

	図書の構成・内容 (●=Lessonなど ○=付録)	学習指導要領の内容
論理の構成や展開及び表現などに関する事項	<p>●Lesson</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や場面、状況などに応じた論理の構成や展開ができるように、3領域（「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」）の活動の達成にふさわしい言語材料や機能表現、語彙を選定した。 各Lesson にExpressing Yourself、Model Paragraph、Language in Action を設け、課題や目標に応じて、論理の構成や展開を意識しながら、情報などを効果的に伝える実例を提示した。 特に、語や機能表現の扱いについては、3領域の活動と効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できるように配慮した。 <p>●Project</p> <ul style="list-style-type: none"> 3領域の活動の基本的な特性を理解し、それぞれの活動への展開がスムーズにできるように構成を工夫した。 	(1)ア (ア)(イ)
情報を整理しながら考えたり伝えることに関する事項	<p>●Lesson、Project</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題や社会的な話題について、多様なテーマに関心が持てるように、各Lesson、各Project それぞれのテーマを設定した。 各Lesson ではExpressing Yourself、Writing、Language in Action を、各Project ではYour Turn を設け、そこに示されたアイデアなどを参考にしながら自らの考えなどを書くことによって、場面や課題に即した中核の考えや展開を整理し、それを表現につなげることができるような構成とした。 具体的な課題に対して、英語を聞いたり読んだりして得た情報を活用しながら、情報や自分自身の考えなどを表現したり伝え合うことができるように、各Lesson、各Project の活動内容をバランスよく配置した。 また、各Lesson 内においては、最終の目標へ導くための支援として、USE のModel Paragraph、Getting Ideas、Writing などのプロセスを設け、情報や自分の考えなどを、要点や意図などを明確にしながら、適切に表現できるように工夫した。 	(2) ア イ
「話すこと」 「やり取り」	<p>●Lesson</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題や社会的な話題についての「やり取り」を通して、自分の考えや気持ちなどを詳しく話して伝え合ったり、必要な情報を得たりする活動のための支援として、USE などにより+α を設け、学習の一助とした。 活動の基礎となる機能表現の知識については、Focus on Function を設け、実際の「やり取り」で活用できるように配慮した。 <p>●Project</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ディスカッション／ディベートの具体例」においては、それぞれの活動の基本的な特徴を理解すると同時に、自分の意見や課題の解決策などを適切な根拠と共に詳しく伝え合うなど、論理的なやり取りの展開が学習できるように構成を工夫した。 <p>○付録「語彙・表現リスト (Vocabulary)」</p> <ul style="list-style-type: none"> 本課の自己表現の活動を、より豊かで活発なものにするために、一定の支援の一環として活動と関連づけた「語彙集」を付した。 	(3) ①ア イ (ア)(イ)

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">「発表」 スピーチ</p>	<p>●Lesson</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題や社会的な話題についてのスピーチやプレゼンテーションを通して、自分の考えや気持ち、意見や主張などを適切な理由や根拠と共に詳しく伝えるための支援として、Writingなどを設け、学習のための一助とした。 活動の基礎となる機能表現の知識については、Focus on Functionを設け、実際の「発表」の活動で活用できるように配慮した。 <p>●Project</p> <ul style="list-style-type: none"> Project 1 においてはスピーチ、Project 2 においてはプレゼンテーションの活動の基本的な特徴を理解すると同時に、自分の意見や主張などを適切な理由や根拠と共に詳しく伝えるなど、テーマに沿った論理的なスピーチやプレゼンテーションの展開が学習できるように構成を工夫した。 <p>○付録「語彙・表現リスト (Vocabulary)」</p> <ul style="list-style-type: none"> 本課の「スピーチ」「プレゼンテーション」の活動を、より豊かで活発なものにするために、一定の支援の一環として、活動と関連付けた「語彙・表現リスト (Vocabulary)」を付した。 	<p>(3)</p> <p>①ア ウ (ア)(イ)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">書くこと</p>	<p>●Lesson</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題や社会的な話題についての「書く」活動を通して、自分の考えや気持ち、意見や主張などを適切な理由や根拠と共に複数の段落を用いて詳しく書いて伝えるための支援として、Writingなどを設け、学習者のための一助とした。 言語活動において活用頻度の高い機能表現や慣用表現をFocus on Functionで系統的に示した。 活動の基礎となる機能表現の知識については付録「基本表現集」を設け、実際の「書くこと」の活動で活用できるように配慮した。 <p>●Project</p> <ul style="list-style-type: none"> Project 5 においては、「書く」活動の基本的な特徴を理解すると同時に、自分の意見や主張などを適切な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝えるなど、テーマに沿った論理的な「書く」活動の展開が学習できるように構成を工夫した。 特に、「書く」テーマに関する発想から推敲までのプロセスを重視し、発想のためのステップを踏むことによって学習者の理解のための支援とした。 <p>○付録「語彙・表現リスト (Vocabulary)」</p> <ul style="list-style-type: none"> 本課の「書く」活動を、より豊かで活発なものにするために、一定の支援の一環として、活動と関連付けた「語彙集」を付した。 	<p>(3)</p> <p>①ア エ (ア)(イ)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">言語の働きに 関する事項</p>	<p>●Lesson、Project</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語活動を行うにあたっては、「言語の使用場面」と「言語の働き」の中から、3領域の活動目標を達成するためにふさわしいものを取り上げ、それぞれの活動の中で、有機的に組み合わせ活用した。 「言語の使用場面」については、本書全体を通して、多様な場面を設定した。(例：学校、地域、国際社会、食事 など) 「言語の働き」については、全Lessonを通して、1つ以上の表現を各活動の中で扱った。(例：繰り返す、言い換える、話題を発展させる、共感する、褒める、感謝する、望む、驚く、説明する、報告する、描写する、理由を述べる、提案する、賛成する、反対する、主張する、質問する、依頼する、誘う、説得する、例を挙げる、薦める など) 	<p>(3)②</p> <p>ア(ア)(イ)(ウ) イ (ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)</p>

※配当時間については、別紙カリキュラム表を参照。

カリキュラム表

L = Lesson, P = Project

課	タイトル	主な言語材料	題材/場面	はたらき	L	R	S や	S 発	W	配 当 時 数
L1	Yuru Sports	希望・願望/依頼・要請/許可	人生・生き方/スピーチ、手紙を書く	挨拶する、自己紹介する、希望を述べる、依頼する、許可を求める	○	○	○	○	○	5
L2	Manga No Longer Subcultural	感情を表す表現	漫画・芸術/スピーチ、エッセイを書く	説明する、感動を表す、共感する、主張と理由を述べる、締めくくる	○	○	○	○	○	5
L3	Japanese Baths	忠告・義務/必要/提案・勧誘	日本文化/プレゼンテーション、レポートを書く	話題を導入する、反論する、主張と理由を述べる	○	○	○	○	○	5
L4	Innovation in Today's World	時間的順序	人物・科学/プレゼンテーション、レポートを書く	説明する、意見を述べる	○	○	○	○	○	5
L5	Food and Culture in the World	方法・様態/数量	料理・食文化/プレゼンテーション、レポートを書く	話題を導入する、説明する	○	○	○	○	○	5
L6	Urban Development	空間配列・方向	都市計画/ディスカッション、レポートを書く	話題を導入する、説明する、理由を述べる	○	○	○	○	○	5
L7	Don't Throw Us Away!	例示・例証/分類・列挙	社会問題/ディスカッション、レポートを書く	話題を導入する、心配する、主張と理由を述べる	○	○	○	○	○	5
L8	The Potential for Esports	賛成・反対/意見	スポーツ/ディベート、レポートを書く	話題を導入する、説明する、理由を述べる	○	○	○	○	○	5
L9	All Gone?	原因・理由/目的/結果	生態系・環境問題/プレゼンテーション、レポートを書く	話題を導入する、心配する、主張と理由を述べる	○	○	○	○	○	5
L10	The "New Normal" at School	対比/譲歩	教育/スピーチ、レポートを書く	話題を導入する、説明する、理由を述べる	○	○	○	○	○	5
P1	Are They Just like Us?		スピーチ	話題を導入する、主張と理由を述べる、質問する、説明を求める、締めくくる、賛成する、反対する	○	○	○	○	○	4
P2	International Students		プレゼンテーション	話題を導入する、主張と理由を述べる、質問する、説明を求める、締めくくる、賛成する、反対する	○	○	○	○	○	4
P3	Introducing Japanese Culture		ディスカッション	話題を導入する、意見を述べる、相手の意見を確認する、賛成する、反対する、発言を促す	○	○	○	○	○	4
P4	Life with Modern Technology Is Better than the Simple Life We Had in the Past		ディベート	意見を述べる、主張と理由を述べる、繰り返す、言い換える、要約する、否定する、賛成する、反対する	○	○	○	○	○	4
P5	Who Discovered America?		ライティング	主張と理由を述べる、説明する	○	○	○	○	○	5
付録：音声スクリプト・日本語訳・対話例、語彙・表現リスト、基本表現集					配当時数合計					71

使用漢字、発音記号の表記等

1. 常用漢字以外の使用漢字一覧表

この教科書における使用漢字は、下記以外は「常用漢字表」（平成 22 年 11 月 30 日内閣告示）に従っている。

「常用漢字表」に記載のない漢字

p.38 炒

p.46 苔

p.51 凱

p.55 灌

p.55 漑

p.60 饅

p.69 瀕

p.71 爬

p.116 膝

p.135 鹼

p.137 姜、噌、椒

なお、この教科書における送り仮名は、すべて「送り仮名の付け方」（昭和 48 年 6 月 18 日内閣告示）に従って表記してある。

2. 発音記号の表記に関する方針

発音表記にあたっては、グランドセンチュリー英和辞典 第 3 版（木原研三 監修、宮井捷二、P.E.ダベ
ンポート 編）、ウィズダム英和辞典 第 4 版（井上永幸、赤野一郎 編）、ジーニアス英和辞典 第 5 版（南
出康世 編）、Longman Pronunciation Dictionary 3rd Edition 等を参照した。発音記号は最も標準的な発音
を、国際音標文字（IPA）に若干の修正を加えて表記した。米音・英音のいずれかで省略される音はイタリ
ックで示した。なお、アクセントは第 1、第 2 アクセントを示した。

出典一覧表

申請図書		出典						備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
前見返し	南極	写真						アフロ
2	カエル	挿絵						編集部作成
	500歩サッカー	写真						世界ゆるスポーツ協会
	大英博物館マンガ展	写真						Gettyイメージズ
	くまモン銭湯	写真						共同通信イメージズ
	レイチェル・カーソン公園	写真						アフロ
	鮪鮓	写真						Gettyイメージズ
	カエル	挿絵						編集部作成
3	マーライオン	写真						Gettyイメージズ
	食卓の料理	写真						アフロ
	eスポーツ映画	写真						『PLAY!』製作委員会
	シロサイ	写真						Gettyイメージズ
	オンライン学習	写真						Gettyイメージズ
	カエル	挿絵						編集部作成
5	500歩サッカー	写真						世界ゆるスポーツ協会
	500歩サッカー	写真						世界ゆるスポーツ協会
	500歩サッカー	写真						世界ゆるスポーツ協会
6	澤田智洋氏	写真						世界ゆるスポーツ協会
7	ベビーバスケット	写真						世界ゆるスポーツ協会
	イモムシラグビー	写真						世界ゆるスポーツ協会
8	エリン・グルーウェル	写真						アフロ
12	別府市	写真						Gettyイメージズ
13	大英博物館マンガ展	写真						Gettyイメージズ
	大英博物館	写真						アフロ
	大英博物館マンガ展図録	写真						三省堂
14	名探偵コナン	挿絵						小学館
16	ラ・ジャポネーズ	写真						PPS通信社
18	合格発表	挿絵						編集部作成
20	須賀神社男坂	写真						アフロ
21	大黒湯	挿絵						中央公論新社
22	銭湯脱衣所(北千住・大黒)	写真						アフロ
	銭湯のエチケット	挿絵						東京都公衆浴場業生活衛生同業組合
24	くまモン銭湯	写真						共同通信イメージズ
28	銭湯(浅草・曙湯)	写真						サイネット
29	レイチェル・カーソン公園	写真						アフロ
30	レイチェル・カーソン切手	写真						アフロ
32	安藤百福	写真						アフロ
36	ガンジー切手	写真						Gettyイメージズ
37	鮪鮓(トリュフ載せ)	写真						Gettyイメージズ
	トンカツ	写真						Gettyイメージズ
	ラーメン	写真						Gettyイメージズ
	ピザ	写真						Gettyイメージズ
	ステーキ(ルーマニア)	写真						Gettyイメージズ
38	銀食器類	写真						アフロ
39	Korea / China	挿絵						編集部作成
40	天ぷら	写真						アマナイメージズ
	ナスノピーマン	挿絵						編集部作成
41	カレーライス	挿絵						編集部作成
44	納豆	写真						Gettyイメージズ
45	マーライオン	写真						Gettyイメージズ
46	緑化ビル	写真						アフロ
47	都市情報	挿絵						編集部作成
48	スマートシティ(昆明市)	写真						Gettyイメージズ
50	駅前のポスト	挿絵						編集部作成

出典一覧表

52	富士山麓(裾野市)	写真						Gettyイメージズ
53	食卓の料理	写真						アフロ
	フードロスのアイコン	挿絵						農林水産省
54	ゴミ処分場	写真						Gettyイメージズ
56	野菜パック	写真						Gettyイメージズ
58	新聞紙	挿絵						編集部作成
60	干ばつ(アラル海)	写真						Gettyイメージズ
61	eスポーツ映画	写真						『PLAY!』制作委員会
62	eスポーツの授業	写真						Gettyイメージズ
64	eスポーツ日本代表	写真						アフロ
68	ゲームをする子供	写真						Gettyイメージズ
69	シロサイ	写真						Gettyイメージズ
	ウミガメ(小笠原)	写真						アフロ
	スマトラオランウータン	写真						アフロ
70	サンゴ礁	写真						アフロ
71	材木を運ぶトラック	写真						Gettyイメージズ
76	町田市バイオセンター	写真						編集部作成
	町田市バイオセンター	写真						編集部作成
77	オンライン学習	写真						Gettyイメージズ
78	学校の授業	写真						Gettyイメージズ
80	オックスフォード大学	写真						Gettyイメージズ
82	女子高校生オンライン学習	挿絵						編集部作成
84	モバイル支払い	写真						アフロ
85	高校生4名	挿絵						編集部作成
86	男児と犬	写真						Gettyイメージズ
88	女子高校生スピーチ	挿絵						編集部作成
90	大学の授業	写真						Gettyイメージズ
95	シロクマ	挿絵						編集部作成
96	山王祭	写真						アフロ
98	夏の生け花	写真						アフロ
100	秋葉原	写真						アフロ
	よさこい祭り	写真						アフロ
	大英博物館マンガ展	写真						Gettyイメージズ
102	討論する高校生	挿絵						編集部作成
104	現代のキッチン	写真						アフロ
	古民家のかまど	写真						アフロ
111	ディベートする高校生	挿絵						編集部作成
112	コロンブス像(バルセロナ)	写真						Gettyイメージズ
113	帆船	挿絵						編集部作成
114	アホウドリ	写真						Gettyイメージズ
116	スコットランド紙幣	写真						アフロ
121	スマートフォン	挿絵						編集部作成
124	男女の高校生	挿絵						編集部作成
125	男女の高校生	挿絵						編集部作成
126	男女の高校生	挿絵						編集部作成
127	男女の高校生	挿絵						編集部作成
128	男女の高校生	挿絵						編集部作成
129	男女の高校生	挿絵						編集部作成
130	男女の高校生	挿絵						編集部作成
131	男女の高校生	挿絵						編集部作成
132	男女の高校生	挿絵						編集部作成
133	男女の高校生	挿絵						編集部作成
135	手塚治虫	挿絵						編集部作成
137	ニンジン	挿絵						編集部作成
	キャベツ	挿絵						編集部作成
140	夏目漱石	挿絵						編集部作成

出典一覧表

141	イモムシラグビー	挿絵						世界ゆるスポーツ協会
142	名探偵コナン	写真						小学館
145	銭湯のたらい	挿絵						編集部作成
147	ミツバチ	挿絵						編集部作成
149	ポークソテー	挿絵						編集部作成
151	マーライオン	挿絵						編集部作成
152	フードロスのアイコン	挿絵						農林水産省
153	eスポーツ全日本選手権	挿絵						日本eスポーツ連合
154	アフリカゾウ	挿絵						編集部作成
156	放課後の教室	挿絵						編集部作成
後見返し	シンガポール	写真						Getty Images

(備考)4 (1)写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。

(2)著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること(別途契約を締結する場合を除く)。

備考4の内容について確認しました。☑

別紙様式第24号

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報				備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要		
1	6, 8, 10, 12	二次元コード	自社	自社ページURL	Lesson 1 の記載内容に関する英文音声／英文テキスト／日本語訳テキストを掲載。 P6 : Understanding the Issue (音声／英文テキスト／発音トレーニング) / Expressing Yourself (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト) P8 : Model Mail (音声／英文テキスト／発音トレーニング) P10 : Focus on Function (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト／発音トレーニング) P12 : Language in Action (音声／英文テキスト)	別紙1添付	
2	14, 16, 18, 20	二次元コード	自社	自社ページURL	Lesson 2 の記載内容に関する英文音声／英文テキスト／日本語訳テキストを掲載。 P14 : Understanding the Issue (音声／英文テキスト／発音トレーニング) / Expressing Yourself (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト) P16 : Model Paragraph (音声／英文テキスト／発音トレーニング) P18 : Focus on Function (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト／発音トレーニング) P20 : Language in Action (音声／英文テキスト)	別紙2添付	
3	22, 24, 26, 28	二次元コード	自社	自社ページURL	Lesson 3 の記載内容に関する英文音声／英文テキスト／日本語訳テキストを掲載。 P22 : Understanding the Issue (音声／英文テキスト／発音トレーニング) / Expressing Yourself (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト) P24 : Model Paragraph (音声／英文テキスト／発音トレーニング) P26 : Focus on Function (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト／発音トレーニング) P28 : Language in Action (音声／英文テキスト)	別紙3添付	
4	30, 32, 34, 36	二次元コード	自社	自社ページURL	Lesson 4 の記載内容に関する英文音声／英文テキスト／日本語訳テキストを掲載。 P30 : Understanding the Issue (音声／英文テキスト／発音トレーニング) / Expressing Yourself (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト) P32 : Model Paragraph (音声／英文テキスト／発音トレーニング) P34 : Focus on Function (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト／発音トレーニング) P36 : Language in Action (音声／英文テキスト)	別紙4添付	
5	38, 40, 42, 44	二次元コード	自社	自社ページURL	Lesson 5 の記載内容に関する英文音声／英文テキスト／日本語訳テキストを掲載。 P38 : Understanding the Issue (音声／英文テキスト／発音トレーニング) / Expressing Yourself (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト) P40 : Model Paragraph (音声／英文テキスト／発音トレーニング) P42 : Focus on Function (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト／発音トレーニング) P44 : Language in Action (音声／英文テキスト)	別紙5添付	
6	46, 48, 50, 52	二次元コード	自社	自社ページURL	Lesson 6 の記載内容に関する英文音声／英文テキスト／日本語訳テキストを掲載。 P46 : Understanding the Issue (音声／英文テキスト／発音トレーニング) / Expressing Yourself (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト) P48 : Model Paragraph (音声／英文テキスト／発音トレーニング) P50 : Focus on Function (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト／発音トレーニング) P52 : Language in Action (音声／英文テキスト)	別紙6添付	
7	54, 56, 58, 60	二次元コード	自社	自社ページURL	Lesson 7 の記載内容に関する英文音声／英文テキスト／日本語訳テキストを掲載。 P54 : Understanding the Issue (音声／英文テキスト／発音トレーニング) / Expressing Yourself (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト) P56 : Model Paragraph (音声／英文テキスト／発音トレーニング) P58 : Focus on Function (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト／発音トレーニング) P60 : Language in Action (音声／英文テキスト)	別紙7添付	
8	82, 84, 86, 88	二次元コード	自社	自社ページURL	Lesson 8 の記載内容に関する英文音声／英文テキスト／日本語訳テキストを掲載。 P82 : Understanding the Issue (音声／英文テキスト／発音トレーニング) / Expressing Yourself (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト) P84 : Model Paragraph (音声／英文テキスト／発音トレーニング) P86 : Focus on Grammar (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト／発音トレーニング) P88 : Language Files (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト)	別紙8添付	

9	70, 72, 74, 76	二次元コード	自社	自社ページURL	Lesson 9 の記載内容に関する英文音声／英文テキスト／日本語訳テキストを掲載。 P70 : Understanding the Issue (音声／英文テキスト／発音トレーニング) / Expressing Yourself (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト) P72 : Model Paragraph (音声／英文テキスト／発音トレーニング) P74 : Focus on Grammar (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト／発音トレーニング) P76 : Language Files (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト)	別紙9添付
10	78, 80, 82, 84	二次元コード	自社	自社ページURL	Lesson 10 の記載内容に関する英文音声／英文テキスト／日本語訳テキストを掲載。 P78 : Understanding the Issue (音声／英文テキスト／発音トレーニング) / Expressing Yourself (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト) P80 : Model Paragraph (音声／英文テキスト／発音トレーニング) P82 : Focus on Grammar (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト／発音トレーニング) P84 : Language Files (音声／英文テキスト／日本語訳テキスト)	別紙10添付
11	86, 90, 96, 104, 112, 114, 116, 118, 120, 122	二次元コード	自社	自社ページURL	Project の記載内容に関する英文音声／英文テキスト／日本語訳テキストを掲載。 P86 : Model Speech (音声／英文テキスト) P90 : Model Presentation (音声／英文テキスト) P96 : Model Discussion ①②③ (音声／英文テキスト) P104 : Model Presentation (音声／英文テキスト) P112 : パラグラフの構成例①② (音声／英文テキスト) P114 : Model Paragraph (音声／英文テキスト) P116 : Model Paragraph (音声／英文テキスト) P118 : Model Paragraph (音声／英文テキスト) P120 : Model Paragraph (音声／英文テキスト) P122 : Model Paragraph (音声／英文テキスト) / Model Essay (音声／英文テキスト)	別紙11添付
12	124	二次元コード	自社	自社ページURL	付録1 音声スクリプト・日本語訳・対話例の英文音声／英文テキストを掲載。	別紙12添付
13	4	URL	自社	自社ページURL	目次ページ。各レッスンのページなどへのリンクを掲載。 Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10 Project 1～5 付録1 音声スクリプト・日本語訳・対話例	別紙13添付

🏠 もくじ ▶ Lesson 1

▼ Lesson 1 *Yuru Sports*

▼ [GET] Sports for All

▶ Understanding the Issue

Sawada Tomohiro works for an advertising agency. When he was 32, he discovered that his son's vision was impaired. Knowing that his son would not be able to see the advertisements he created, Sawada decided to change ⁵ the way he lived and worked. He **asked** 200 people with

マスク

英語 日本語

語句・表現

🔄 連続一文 ⚙️

▶ 本文発音トレーニング

発音チェック 操作編について ?

✔️ Lesson 1 [GET] Understanding the Issue
Sawada Tomohiro works for an advertising agency.

✔️ Lesson 1 [GET] Understanding the Issue
When he was 32, he discovered that his son's vision was impaired.

▶ Expressing Yourself

❶ I **would like to** play "Baby Basketball." I'm not good at sports, but I have an aunt with a baby, so I am used to holding babies gently.

▶ 私は「ベビーバスケット」をやってみたいです。スポーツは得意ではありませんが、叔母に赤ちゃんがいて、赤ちゃんを優しく扱うのには慣れているからです。

マスク

英語 日本語

🔄 連続一文 ⚙️

▼ [USE] Your Dream

▶ Model Mail

❶ Dear Erin Gruwell,

I hope this email message finds you well.

❷ My name is Matsumoto Ken, and I am a Japanese high school student. ❸ **I would like to** be a teacher in the future, but I am wondering how to build relationships with students.

～を望む
(願望)

マスク

英語 日本語

語句・表現

[ホーム](#) ▶ Lesson 1

▶ 本文発音トレーニング

<
発音チェック
著作権について ?

☑ Lesson 1 [USE] Model Mail
Dear Erin Gruwell,

☑ Lesson 1 [USE] Model Mail
I hope this email message finds you well.

☑ Lesson 1 [USE] Model Mail
My name is Matsumoto Ken, and I am a Japanese high school students.

☑ Lesson 1 [USE] Model Mail
I would like to be a teacher in the future, but I am wondering how to build relationships with students.

🔄 連続一文
▶ ⏸
⚙️

▶ Focus on Function 希望・願望／依頼・要請／許可

A 「～したい」「～しておけばよかった」という〈希望・願望〉の表現

- 1 **I would like to** study with my friends in the library.
(友達と図書館で勉強したいと思う) [～したいと思う]
USAGE want to ～よりも丁寧な言い方。
- 2 **I would rather** stay at school **than** go on an excursion.
(私は遠足に行くより、むしろ学校にいたい) [～するよりも、むしろ…したい]
- 3 **I hope that** our teacher won't give us too much homework for the weekend.
(先生が、私たちに週末の宿題をあまりたくさん出さなければよいと思う) [～ということを望む]
- 4 **I wish I had told** you earlier that I am not very good at sports.
(運動はあまり得意ではないと、もっと早く伝えておけばよかったと思う) [～していたらよかった]

🔄 連続一文
▶ ⏸
⚙️

▶ 本文発音トレーニング

<
発音チェック
著作権について ?

☑ Lesson 1 [Focus on Function] (A) 〈希望・願望〉の表現
I would like to study with my friends in the library.

☑ Lesson 1 [Focus on Function] (A) 〈希望・願望〉の表現
I would rather stay at school than go on an excursion.

▶ Language in Action

The city of Beppu has worked with community groups to help people with disabilities prepare for disasters. First, support plans were created by researching what people with disabilities can and cannot do, and how they **would like** the community **to** support them. Next, evacuation drills were conducted based on these support plans, and the plans were checked and improved. As a result, several new ideas were created. One example is a rope that makes it easier for caregivers to pull a wheelchair. By thinking and working together, people with disabilities and those who **want to** support the community have become more closely connected. (103 words)



■資料補足

- ・各タイトルのバーは開閉式（▽開／▶閉）となります。
- ・読み込んだ二次元コードのページのバーが自動的に開いて表示されます。
- ・バーを閉じる際には、再度バーをクリックして閉じます。
- ・Lesson 1と同様の機能のバーは、Lesson 2以降では閉じた状態になっています。

[🏠 もくじ](#) ▶ Lesson 2

▽ Lesson 2 Manga No Longer Subcultural

▽ [GET] One Truth Prevails!

▶ Understanding the Issue

▶ 本文発音トレーニング

▶ Expressing Yourself

▽ [USE] Japanese Pop Culture

▶ Model Paragraph

▶ 本文発音トレーニング

▶ Focus on Function 感情を表す表現

▶ 本文発音トレーニング

▶ Language in Action

■ 資料補足

- ・各タイトルのバーは開閉式（▽開／▶閉）となります。
- ・読み込んだ二次元コードのページのバーが自動的に開いて表示されます。
- ・バーを閉じる際には、再度バーをクリックして閉じます。
- ・Lesson 1と同様の機能のバーは、Lesson 2以降では閉じた状態になっています。

[🏠 もくじ ▶ Lesson 3](#)

▼ Lesson 3 Japanese Baths

▼ [GET] Taking a Public Bath

▶ Understanding the Issue

▶ 本文発音トレーニング

▶ Expressing Yourself

▼ [USE] Enjoy Public Baths!

▶ Model Paragraph

▶ 本文発音トレーニング

▶ Focus on Function 忠告・義務／必要／提案・勧誘

▶ 本文発音トレーニング

▶ Language in Action

■ 資料補足

- ・各タイトルのバーは開閉式（▼開／▶閉）となります。
- ・読み込んだ二次元コードのページのバーが自動的に開いて表示されます。
- ・バーを閉じる際には、再度バーをクリックして閉じます。
- ・Lesson 1と同様の機能のバーは、Lesson 2以降では閉じた状態になっています。

[🏠 もくじ ▶ Lesson 4](#)

▼ Lesson 4 Innovation in Today's World

▼ [GET] Silent Spring

▶ Understanding the Issue

▶ 本文発音トレーニング

▶ Expressing Yourself

▼ [USE] Think Different

▶ Model Paragraph

▶ 本文発音トレーニング

▶ Focus on Function 時間的順序

▶ 本文発音トレーニング

▶ Language in Action

■ 資料補足

- ・各タイトルのバーは開閉式（▽開／▶閉）となります。
- ・読み込んだ二次元コードのページのバーが自動的に開いて表示されます。
- ・バーを閉じる際には、再度バーをクリックして閉じます。
- ・Lesson 1と同様の機能のバーは、Lesson 2以降では閉じた状態になっています。

[🏠 もくじ ▶ Lesson 5](#)

▽ Lesson 5 Food and Culture in the World

▽ [GET] Japanese Food or Western Food?

▶ Understanding the Issue

▶ 本文発音トレーニング

▶ Expressing Yourself

▽ [USE] Making *Tempura*

▶ Model Paragraph

▶ 本文発音トレーニング

▶ Focus on Function 方法・様態／数量

▶ 本文発音トレーニング

▶ Language in Action

■資料補足

- ・各タイトルのバーは開閉式（▽開／▶閉）となります。
- ・読み込んだ二次元コードのページのバーが自動的に開いて表示されます。
- ・バーを閉じる際には、再度バーをクリックして閉じます。
- ・Lesson 1と同様の機能のバーは、Lesson 2以降では閉じた状態になっています。

[🏠 もくじ ▶ Lesson 6](#)

▼ Lesson 6 Urban Development

▼ [GET] Go Green

▶ Understanding the Issue

▶ 本文発音トレーニング

▶ Expressing Yourself

▼ [USE] Ideal City

▶ Model Paragraph

▶ 本文発音トレーニング

▶ Focus on Function 空間配列・方向

▶ 本文発音トレーニング

▶ Language in Action

■ 資料補足

- ・各タイトルのバーは開閉式（▼開／▶閉）となります。
- ・読み込んだ二次元コードのページのバーが自動的に開いて表示されます。
- ・バーを閉じる際には、再度バーをクリックして閉じます。
- ・Lesson 1と同様の機能のバーは、Lesson 2以降では閉じた状態になっています。

[🏠 もくじ ▶ Lesson 7](#)

▼ Lesson 7 Don't Throw Us Away!

▼ [GET] Food Problems

▶ Understanding the Issue

▶ 本文発音トレーニング

▶ Expressing Yourself

▼ [USE] Less Food Waste

▶ Model Paragraph

▶ 本文発音トレーニング

▶ Focus on Function 例示・例証／分類・列挙

▶ 本文発音トレーニング

▶ Language in Action

■資料補足

- ・各タイトルのバーは開閉式（▽開／▶閉）となります。
- ・読み込んだ二次元コードのページのバーが自動的に開いて表示されます。
- ・バーを閉じる際には、再度バーをクリックして閉じます。
- ・Lesson 1と同様の機能のバーは、Lesson 2以降では閉じた状態になっています。

[🏠 もくじ ▶ Lesson 8](#)

▼ Lesson 8 The Potential for Esports

▼ [GET] Esports in High School

▶ Understanding the Issue

▶ 本文発音トレーニング

▶ Expressing Yourself

▼ [USE] Are Esports Sports?

▶ Model Paragraph

▶ 本文発音トレーニング

▶ Focus on Function 賛成・反対／意見

▶ 本文発音トレーニング

▶ Language in Action

■資料補足

- ・各タイトルのバーは開閉式（▼開／▶閉）となります。
- ・読み込んだ二次元コードのページのバーが自動的に開いて表示されます。
- ・バーを閉じる際には、再度バーをクリックして閉じます。
- ・Lesson 1と同様の機能のバーは、Lesson 2以降では閉じた状態になっています。

[🏠 もくじ ▶ Lesson 9](#)

▽ Lesson 9 All Gone?

▽ [GET] Habitat Changes

▶ Understanding the Issue

▶ 本文発音トレーニング

▶ Expressing Yourself

▽ [USE] Destroying the Environment

▶ Model Paragraph

▶ 本文発音トレーニング

▶ Focus on Function 原因・理由／目的／結果

▶ 本文発音トレーニング

▶ Language in Action

■ 資料補足

- ・各タイトルのバーは開閉式（▽開／▶閉）となります。
- ・読み込んだ二次元コードのページのバーが自動的に開いて表示されます。
- ・バーを閉じる際には、再度バーをクリックして閉じます。
- ・Lesson 1と同様の機能のバーは、Lesson 2以降では閉じた状態になっています。

[🏠 もくじ ▶ Lesson 10](#)

▽ Lesson 10 The “New Normal” at School

▽ [GET] Online or Face-to-face?

▶ Understanding the Issue

▶ 本文発音トレーニング

▶ Expressing Yourself

▽ [USE] Overseas Study at Home

▶ Model Paragraph

▶ 本文発音トレーニング

▶ Focus on Function 対比／譲歩

▶ 本文発音トレーニング

▶ Language in Action

■ 資料補足

- ・各タイトルのバーは開閉式（▽開／▶閉）となります。
- ・読み込んだ二次元コードのページのバーが自動的に開いて表示されます。
- ・バーを閉じる際には、再度バーをクリックして閉じます。
- ・Lesson 1と同様の機能のバーは、Lesson 2以降では閉じた状態になっています。

[🏠 もくじ ▶ Project](#)[▽ Project 1 Speech](#)[▽ 例](#)

What do you think about treating pets just like human beings? **In my opinion**, it is wrong to treat animals as if they were the same as us.

First of all, the things pets really want are different from what humans think they want. For example, I often see dogs wearing clothes when walking along with their owners. But I don't think they feel comfortable in man-made clothes because they are already kept warm by their own fur.

[▶ Project 2 Presentation](#)[▶ Project 3 Discussion](#)[▶ Project 4 Debate](#)[▶ Project 5 Writing](#)**■ 資料補足**

- ・各タイトルのバーは開閉式（▽開／▶閉）となります。
- ・読み込んだ二次元コードのページのバーが自動的に開いて表示されます。
- ・バーを閉じる際には、再度バーをクリックして閉じます。
- ・Project 1と同様の機能のバーは、Project 2以降では閉じた状態になっています。

[🏠 もくじ ▶ 付録](#)
[▽付録① 音声スクリプト・日本語訳・対話例](#)
[▽Lesson 1](#)
[▽Introducing the Topic](#)

Ken : I'm not a good athlete, so I don't enjoy playing sports.

Mary : Have you ever heard of *Yuru Sports*? They are sports that anyone can enjoy, young or old, male or female, even if you are not good at sports or have some disability.

Ken : I have never heard of them. Can you tell me more about them?

マスク

 Ken Mary

 表現・文法事項

通し読み

 役割 両方 Ken Mary

[▽Expressing Yourself](#)

A I would like to play “Baby Basketball.” I'm not good at sports, but I have an aunt with a baby, so I'm used to holding babies gently.

B This seems like something you're good at. What are your tips for holding babies?

[▶ Lesson 2](#)
[▶ Lesson 3](#)
[▶ Lesson 4](#)
[▶ Lesson 5](#)
[▶ Lesson 6](#)
[▶ Lesson 7](#)
[▶ Lesson 8](#)
[▶ Lesson 9](#)
[▶ Lesson 10](#)
■資料補足

- ・各タイトルのバーは開閉式（▽開／▶閉）となります。
- ・読み込んだ二次元コードのページのバーが自動的に開いて表示されます。
- ・バーを閉じる際には、再度バーをクリックして閉じます。
- ・Lesson 1と同様の機能のバーは、Lesson 2以降では閉じた状態になっています。

🏠 もくじ

[▶ Lesson 1 Yuru Sports](#)[▶ Lesson 2 Manga No Longer Subcultural](#)[▶ Lesson 3 Japanese Baths](#)[▶ Lesson 4 Innovation in Today's World](#)[▶ Lesson 5 Food and Culture in the World](#)[▶ Lesson 6 Urban Development](#)[▶ Lesson 7 Don't Throw Us Away!](#)[▶ Lesson 8 The Potential for Esports](#)[▶ Lesson 9 All Gone?](#)[▶ Lesson 10 The "New Normal" at School](#)[▶ Project 1 Speech](#)[▶ Project 2 Presentation](#)[▶ Project 3 Discussion](#)[▶ Project 4 Debate](#)[▶ Project 5 Writing](#)[▶ 付録① 音声スクリプト・日本語訳・対話例](#)

■ 資料補足

- ・各タイトルのバーは開閉式（▽開／▶閉）となります。
- ・複数のバーを同時に開くこともできます。
- ・バーを閉じる際には、再度バーをクリックして閉じます。

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表
(外国語(英語)音声に係るもの)

番号	ページ	行	ウェブページを参照させる手段 (URL、二次元コード等の別)
1	6, 8, 10, 12	上部	二次元コード
2	14, 16, 18, 20	上部	二次元コード
3	22, 24, 26, 28	上部	二次元コード
4	30, 32, 34, 36	上部	二次元コード
5	38, 40, 42, 44	上部	二次元コード
6	46, 48, 50, 52	上部	二次元コード
7	54, 56, 58, 60	上部	二次元コード
8	62, 64, 66, 68	上部	二次元コード
9	70, 72, 74, 76	上部	二次元コード
10	78, 80, 82, 84	上部	二次元コード
11	86, 90, 96, 104, 112, 114, 116, 118, 120, 122	上部	二次元コード
12	124	上部	二次元コード